



# 総代会制度について

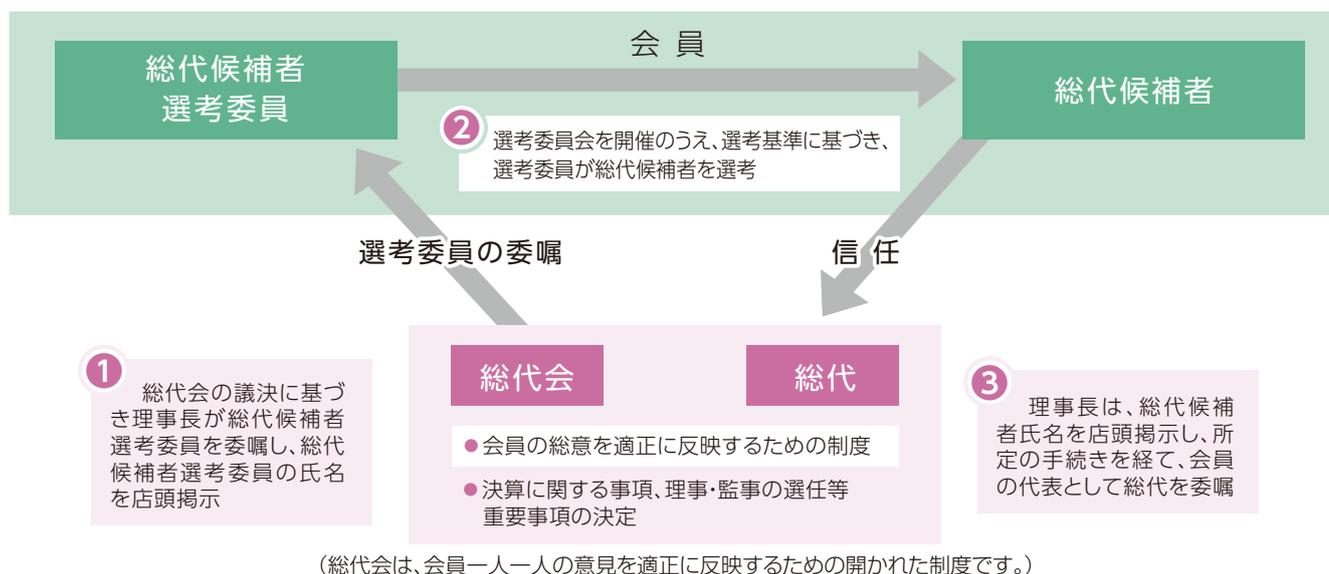
## 信用金庫と総代会について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互惠」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数が大変多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、定款の変更や決算、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員の一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、総代構成のバランス等に配慮し、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員の皆様とのコミュニケーションを大切に、経営改善に取り組んでおります。

なお、総代会の運営に関するご意見ご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。



## ■ 総代候補者選考基準

- ① 資格要件
  - 当金庫の会員であること。
  - 就任時点で80歳を超えていない者
- ② 適格要件
  - 総代としてふさわしい見識を有している者
  - 良識をもって正しい判断ができる者
  - 人格に優れ、当金庫の理念・使命を十分理解している者
  - その他、総代選考委員が適格と認めた者

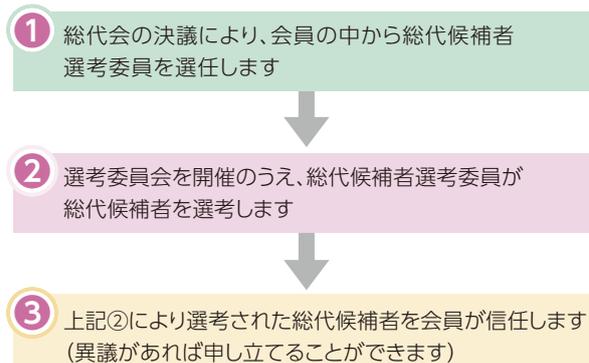
## ■ 総代の任期・定数

- 総代の任期は3年です。
- 総代の定数は80人以上110人以下で、会員数に応じて各選任区域ごとに定められております。
- なお、令和4年3月31日現在の総代数は85人で、会員数は20,717人です。

## ■ 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

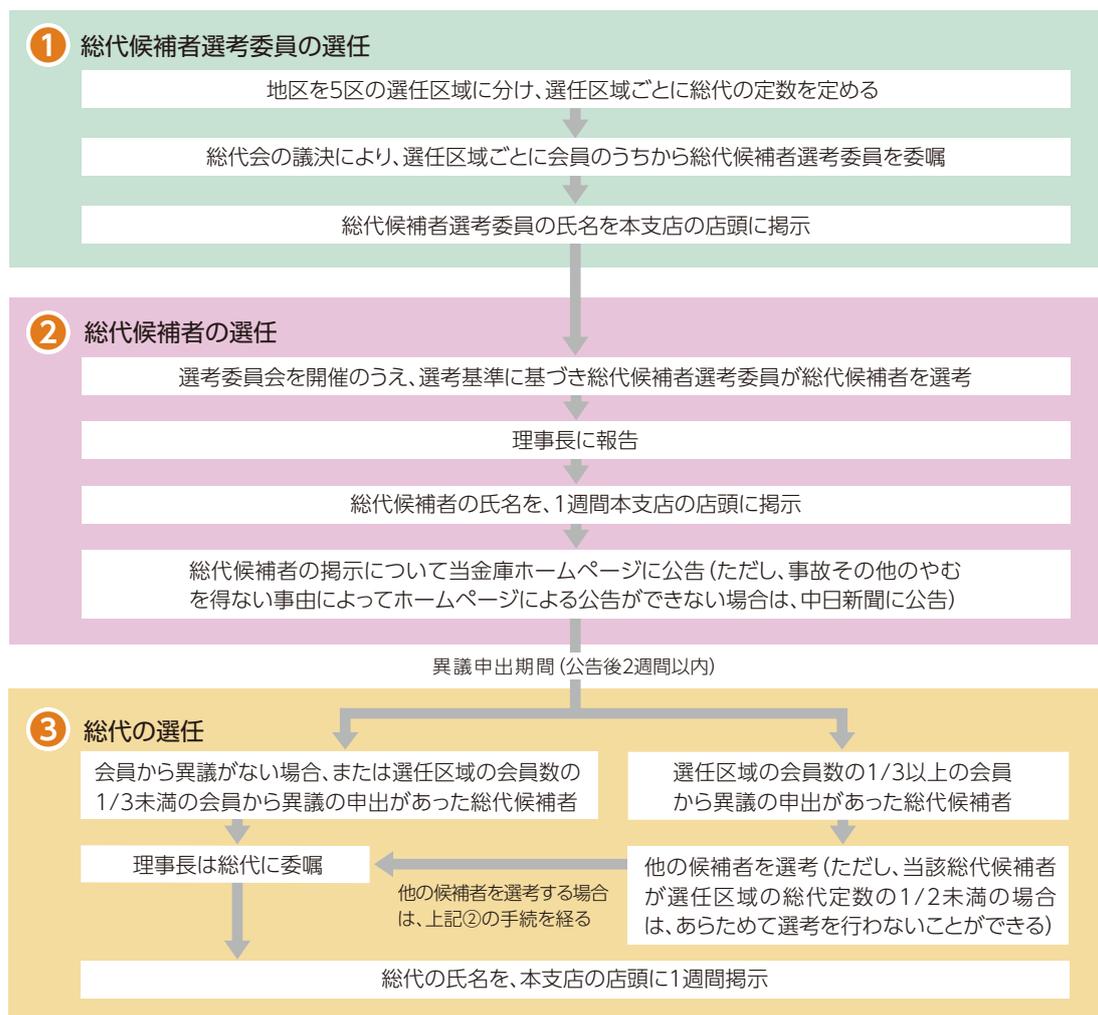
そこで、総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。





# 総代会制度について

## ■ 総代が選任されるまでの手続き



総代会制度について

## ■ 総代の選任区域および定数

※令和4年7月1日現在の総代数は85人です。

	選任区域	定数	総代数
第一区域	半田市のうち半田、成岩地区、常滑市、知多郡武豊町、美浜町、南知多町、碧南市	47人	47人
第二区域	半田市のうち乙川、亀崎地区、知多郡阿久比町、高浜市	8人	8人
第三区域	大府市、知多郡東浦町、刈谷市、豊明市	10人	10人
第四区域	東海市、知多市	15人	15人
第五区域	名古屋市南区、緑区、港区、熱田区、瑞穂区、昭和区、天白区、中区、中川区、千種区	5人	5人

## ■ 第92期通常総代会の決議事項

第92期通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案のとおり了承されました。

- (1) 報告事項 第92期(令和3年度)業務報告、貸借対照表および損益計算書報告の件
- (2) 決議事項
  - 第1号議案 第92期(令和3年度)剰余金処分案承認の件
  - 第2号議案 総代候補者選考委員18名選任の件
  - 第3号議案 会員除名の件



## ■ 総代の状況

(地区別50音順に記載しております。敬称略)

第一区域 半田・成岩・常滑・武豊・美浜 (47人)	株式会社オオサカヤ <sup>⑨</sup> 大橋 利康 <sup>⑤</sup> 小澤 義文 <sup>③</sup> 上中 富雄 <sup>⑦</sup> 榊原 総一郎 <sup>①</sup> 榊原 宏和 <sup>④</sup> 合資会社さくら堂 <sup>⑭</sup> 株式会社白子屋 <sup>⑭</sup> 武豊屋株式会社 <sup>④</sup> 都築 延男 <sup>②</sup> 株式会社デザインセンターオワリヤ <sup>⑦</sup> 蛭川 裕規 <sup>①</sup> 村瀬 実誉 <sup>③</sup> 森田木工株式会社 <sup>⑨</sup> 八洲建設株式会社 <sup>④</sup> 以上成岩地区 永田 明世 <sup>⑤</sup> 以上常滑地区 泉万醸造株式会社 <sup>⑫</sup> 小栗 康義 <sup>①</sup> 株式会社武豊鉄工所 <sup>⑫</sup> 森田 庄次 <sup>⑧</sup> 山本 直樹 <sup>②</sup> 以上武豊地区 相川 政範 <sup>③</sup> 森田 勉司 <sup>⑧</sup> 以上美浜地区	第二区域 乙川・亀崎・阿久比 (8人)	安藤 浩詩 <sup>③</sup> 医療法人一草会 <sup>⑭</sup> 關 長吉 <sup>⑤</sup> 以上乙川地区 今津 昭 <sup>⑥</sup> 成田 一郎 <sup>②</sup> 間瀬 芳郎 <sup>①</sup> 以上亀崎地区 丸佐織物株式会社 <sup>⑭</sup> 山内 美幸 <sup>④</sup> 以上阿久比地区	第四区域 東海・知多 (15人)	株式会社磯部組 <sup>⑨</sup> 太田アルミ販売株式会社 <sup>⑨</sup> 大村 剛弘 <sup>①</sup> 小笠原 功 <sup>②</sup> 加藤 昭 <sup>③</sup> 河野電子株式会社 <sup>⑭</sup> 株式会社仙台屋 <sup>⑭</sup> 有限会社知多重機 <sup>⑭</sup> 山田 護 <sup>①</sup> 以上東海地区 大堀 道之 <sup>⑤</sup> 酒井 清 <sup>②</sup> 新海 容三 <sup>④</sup> 竹新製菓株式会社 <sup>⑭</sup> 合資会社永井金物店 <sup>⑭</sup> 株式会社村瀬組 <sup>⑭</sup> 以上知多地区
		第三区域 大府・東浦 (10人)	大嶋 久邦 <sup>④</sup> 株式会社共和モータース <sup>⑨</sup> 株式会社三恵シーアンドシー <sup>⑭</sup> 近藤 英男 <sup>③</sup> 鈴木 達仁 <sup>④</sup> 株式会社花井組 <sup>⑭</sup> 伴 浩 <sup>③</sup> 三苫 雅彦 <sup>①</sup> 以上大府地区 岡本 由記夫 <sup>⑤</sup> 新美 廣興 <sup>⑦</sup> 以上東浦地区	第五区域 名古屋 (5人)	伊東 良夫 <sup>⑧</sup> 株式会社キクテック <sup>⑭</sup> 高広工業株式会社 <sup>⑭</sup> 長谷 有希 <sup>①</sup> 名城食品株式会社 <sup>⑤</sup> 以上名古屋地区

注：丸数字は総代の就任回数。

## ■ 総代の属性等別構成比

職業別	法人・法人代表者 81%、個人事業主 19%
年代別	70代以上 41%、60代 39%、50代 16%、40代 4%
業種別	製造業 39%、建設業 26%、サービス業 24%、小売業 8%、不動産業 3%

注：業種別の構成比は法人・法人代表者及び個人事業主に限っております。